



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 森組

上場取引所 東

コード番号 1853 URL <http://www.morigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 黒飛 勝之

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	27,071	19.9	2,386	113.9	2,376	120.3	1,610	103.1
29年3月期第3四半期	22,570	7.6	1,115	35.0	1,078	35.9	792	35.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	49.16	
29年3月期第3四半期	24.20	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	23,393	9,511	40.7	290.43
29年3月期	22,927	7,996	34.9	244.16

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 9,511百万円 29年3月期 7,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				3.00	3.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	9.2	2,640	62.4	2,620	64.6	1,720	47.7	52.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	32,800,000 株	29年3月期	32,800,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	50,267 株	29年3月期	50,266 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	32,749,734 株	29年3月期3Q	32,749,984 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9
四半期受注の概況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、第2四半期累計期間に引き続き、企業業績の緩やかな回復、所得・雇用環境の改善がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、欧米やアジア新興国における政治や経済動向、近隣諸国の地政学リスクの高まりなどにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、緩やかに上昇傾向が持続している民間系建設投資に比べ、政府系建設投資は一息感がみられるとともに、地域格差が拡大する傾向が窺えます。一方、建設技能者不足や資材価格・労務費等の上昇懸念は依然として解消されず、受注環境も競争が激化しており、当社を取り巻く経営環境は不安定な状況が続いております。

このような状況下、当社では「安定した事業量の継続的確保」、「安定した利益を生み出す価格競争力」、「継続的な人財育成・活性化」、これらの中長期的戦略を実行することで経営基盤を安定させ、持続的発展の礎を築くことを基本方針として、継続的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における工事受注高は18,705百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、売上高27,071百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益2,386百万円（前年同四半期比113.9%増）、経常利益2,376百万円（前年同四半期比120.3%増）、四半期純利益1,610百万円（前年同四半期比103.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業におきましては、受注高18,705百万円（前年同四半期比3.2%減）、売上高25,416百万円（前年同四半期比20.3%増）、セグメント利益2,854百万円（前年同四半期比82.3%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高25百万円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント損失0百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(砕石事業)

砕石事業におきましては、売上高1,629百万円（前年同四半期比15.0%増）、セグメント利益182百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比466百万円増加の23,393百万円となりました。この主な要因は、現金預金3,204百万円の増加と、受取手形・完成工事未収入金2,377百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比1,048百万円減少の13,882百万円となりました。この主な要因は、未成工事受入金408百万円の増加と、支払手形・工事未払金等321百万円、短期借入金1,180百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比1,515百万円増加の9,511百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益1,610百万円の計上による増加と、配当金の支払いによる98百万円の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は40.7%（前事業年度末は34.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績動向及び今後の見通しを勘案し、平成29年11月10日に公表しました通期の業績予想を下記の通り修正しております。

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,000	2,250	2,220	1,470	44.89
今回発表予想(B)	34,000	2,640	2,620	1,720	52.52
増減額(B-A)	1,000	390	400	250	
増減率(%)	3.0	17.3	18.0	17.0	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	31,139	1,625	1,591	1,164	35.57

修正の理由

売上高は、手持工事の進捗が期首の予想より進んだことにより、前回予想数値を上回る見込みであります。利益面につきましては、建設事業における工事採算性の向上等による完成工事粗利益の改善により、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想数値を上回る見込みであります。

(注意事項)

上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しております。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,786	8,991
受取手形・完成工事未収入金	11,968	9,590
売掛金	334	415
未成工事支出金	21	21
たな卸不動産	385	377
商品及び製品	4	5
仕掛品	0	0
材料貯蔵品	114	38
繰延税金資産	110	81
その他	1,007	746
貸倒引当金	△145	△145
流動資産合計	19,588	20,124
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,066	1,075
機械、運搬具及び工具器具備品	1,775	1,799
土地	1,656	1,656
リース資産	172	130
減価償却累計額	△2,079	△2,101
有形固定資産合計	2,590	2,560
無形固定資産		
無形固定資産	99	50
投資その他の資産		
投資有価証券	432	437
長期貸付金	32	27
前払年金費用	—	35
繰延税金資産	46	—
その他	151	171
貸倒引当金	△13	△14
投資その他の資産合計	648	658
固定資産合計	3,339	3,269
資産合計	22,927	23,393

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	10,770	10,448
短期借入金	2,280	1,100
未払法人税等	206	517
未成工事受入金	745	1,154
完成工事補償引当金	51	74
工事損失引当金	22	2
賞与引当金	121	—
その他	523	539
流動負債合計	14,721	13,836
固定負債		
退職給付引当金	170	—
繰延税金負債	—	17
その他	39	27
固定負債合計	209	45
負債合計	14,930	13,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	6,105	7,617
自己株式	△4	△4
株主資本合計	7,943	9,454
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53	56
評価・換算差額等合計	53	56
純資産合計	7,996	9,511
負債純資産合計	22,927	23,393

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高		
完成工事高	21,129	25,416
碎石事業売上高	1,416	1,629
不動産事業売上高	23	25
売上高合計	22,570	27,071
売上原価		
完成工事原価	19,218	22,201
碎石事業売上原価	1,212	1,407
不動産事業売上原価	20	25
売上原価合計	20,451	23,634
売上総利益		
完成工事総利益	1,911	3,215
碎石事業総利益	204	221
不動産事業総利益	3	0
売上総利益合計	2,119	3,437
販売費及び一般管理費	1,003	1,051
営業利益	1,115	2,386
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
保険配当金	4	4
受取事務手数料	3	3
固定資産売却益	—	6
雑収入	7	5
営業外収益合計	21	25
営業外費用		
支払利息	49	26
支払手数料	7	7
雑支出	1	0
営業外費用合計	58	34
経常利益	1,078	2,376
税引前四半期純利益	1,078	2,376
法人税、住民税及び事業税	223	675
法人税等調整額	63	90
法人税等合計	286	766
四半期純利益	792	1,610

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	21,129	23	1,416	22,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	5	5
計	21,129	23	1,422	22,576
セグメント利益又は損失(△)	1,565	△2	171	1,734

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,734
全社費用(注)	△619
四半期損益計算書の営業利益	1,115

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	25,416	25	1,629	27,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4	4
計	25,416	25	1,634	27,076
セグメント利益又は損失(△)	2,854	△0	182	3,036

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,036
全社費用(注)	△649
四半期損益計算書の営業利益	2,386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期受注の概況

(1) 受注実績

項目	受注高	
平成30年3月期第3四半期累計期間	18,705百万円	△3.2%
平成29年3月期第3四半期累計期間	19,325百万円	△11.7%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②海外受注高はありません。

③パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建	土木	官公庁	5,681	29.4%	6,925	37.0%	1,243	21.9%
		民間	2,230	11.5%	900	4.8%	△1,330	△59.6%
		計	7,912	40.9%	7,825	41.8%	△86	△1.1%
設	建築	官公庁	334	1.7%	581	3.1%	246	73.9%
		民間	11,078	57.4%	10,298	55.1%	△779	△7.0%
		計	11,412	59.1%	10,879	58.2%	△533	△4.7%
業	計	官公庁	6,016	31.1%	7,506	40.1%	1,490	24.8%
		民間	13,309	68.9%	11,199	59.9%	△2,110	△15.9%
		計	19,325	100%	18,705	100%	△619	△3.2%

(2) 受注予想

項目	受注高	
平成30年3月期 通期予想	30,000百万円	2.3%
平成29年3月期 通期実績	29,336百万円	△22.8%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率